

# サンゴ研究への 生命科学的的手法による アプローチ



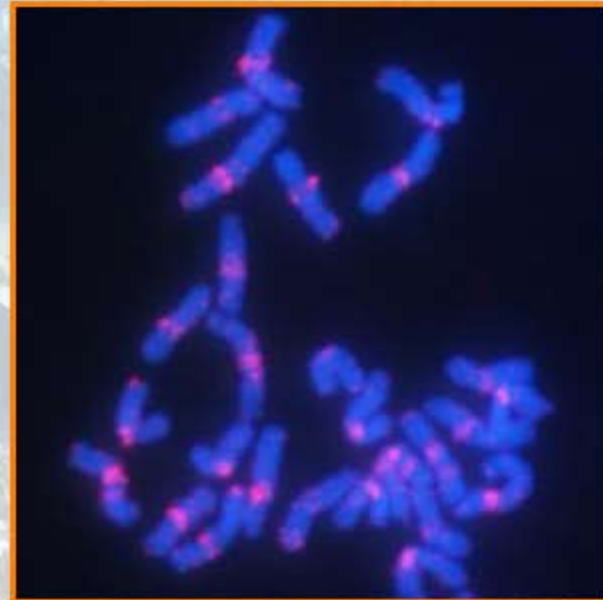
温かい国  
台湾での研究生活 (日本語)

ナガレハナサンゴの  
ユニークな生殖様式 (英語)

識名 信也  
国立台湾海洋大学 准教授

サンゴの核型分析と  
分子細胞遺伝学的解析 (英語)

Joshua Vacarizas  
高知大学 博士課程1年生



**日時:**2021年3月18日(水) 15時～16時30分

**開催方法:**MS-Teams

**セミナー概要:**別紙をご覧ください

## サンゴ研究への生命科学的手法によるアプローチ

日時:2021年3月18日(木)15時～16時30分

開催方法:MS-Teams (申込方法は後日案内)

### 【セミナーの概要】

サンゴは、熱帯・亜熱帯の海洋生態系を支える基盤として重要な役割を果たしており、環境保全の象徴的存在として世界的に注目度の高い海洋生物です。

太平洋西部は、黒潮の影響を強く受け、亜熱帯の台湾沿岸－琉球列島にとどまらず温帯の一部である日本西南域にかけてサンゴの多様性が高い、世界でも類を見ない海域となっています。

本セミナーでは、東京海洋大学で博士の学位を取得後、台湾での博士研究員を経て、國立台灣海洋大學で研究を進められている**識名信也准教授**をお招きし、サンゴの生殖様式の生理学的研究についてご紹介いただきます。また、海外での研究を志したきっかけや台湾での研究生活についてもご紹介いただきます。

高知大学からは、フィリピンからの**留学生 Joshua Vacarizas** さんに、サンゴの染色体研究についてご紹介いただきます。サンゴで特定の遺伝子の染色体上位置を知る手法は、世界でも高知大学で開発された方法です。この関連テーマは、2020年度の卒論生2名も取り組みました。皆さんの参加をお待ちしています。

### 【講師紹介】

識名 信也 (國立台灣海洋大學 海洋環境與生態研究所 准教授)

- 2009年 東京海洋大学大学院博士課程修了 博士 (海洋生命科学)
- 2010年 國立台灣海洋大學 博士研究員
- 2014年 國立台灣海洋大學 助教
- 2018年 國立台灣海洋大學 准教授

専門分野: サンゴの生殖生理

- サンゴがどこでどのように配偶子 (精子や卵) を作るのか?
- どのような遺伝子が配偶子の形成に関与しているのか?

など、サンゴの配偶子形成に関する基礎的知見を集積することを  
目指した研究を推進されています。